

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ひだまり久世増床工事	階数	地上5F
建設地	京都府城陽市久世里の西82番地	構造	RC造
用途地域	指定なし	平均居住人員	90人
気候区分		年間使用時間	XXX時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年6月 予定	評価の実施日	2011年6月8日
敷地面積	6,650 m ²	作成者	株式会社類設計室
建築面積	1,077 m ²	確認日	
延床面積	4,286 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 89%
③上記+②以外の 89%
④上記+ 89%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>特別養護老人ホーム90床、内ショートサービス10床の施設である。ユニット型の特養で、10床1ユニット、1フロア2ユニットが4階、最上階：5階が1ユニットのショートサービスの構成となっている。共同生活室から各居室が見渡せるように配置されたプラン。</p> <p>本施設は、既存特別養護老人ホームの厨房を増築(拡張)し、そこからの給食サービスを行う計画。屋外運動場</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>居室は、充分な大きさの窓を設置し、採光や通風など快適な住環境の確保に配慮した計画としている。</p> <p>また、グレア対策として、バルコニーによる庇効果を見込んだ計画としている。さらに、シックハウス対策とし</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>充分な階高、充分な天井高を確保し、設備のメンテナンス及び更新に配慮した計画としている。また、耐震性の確保と耐久性の高い材料、機器等を選定しているほか、利用円滑化基準を満たす設計を行い、誰もが使いやすい施</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>オール電化の対応、居住空間に絞った床暖房の採用、LED照明の採用など、省エネルギーに考慮した計画としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>下地・仕上材、設備機器、給排水機器など、長寿命化、省資源を考慮した材料を選定している。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>福祉施設らしい柔らかく明るい暖色系の色調の外装材で、地域景観の向上に寄与するような計画としている。また、緑豊かな外構計画とし、地域環境に配慮した計画としている。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器を使用しないオール電化の対応などにより、地球温暖化防止への配慮をおこなっている。また、充分な駐車場、駐輪場の確保、その他関係法令を遵守し、周辺環境に配慮した計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される